

2025 年 11 月 12 日

HSBC、IGES による気候変動対策に係る研究プロジェクトの実施を支援

HSBC は、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES＝アイジェス）に、日本およびアジア太平洋地域における気候変動対策に係る研究プロジェクトの実施を寄付により支援します。

IGES は、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO 等と連携しながら、気候変動、生物多様性と生態系サービス、持続可能な消費と生産などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。

HSBC からの寄付は、以下の研究プロジェクトに活用されます。

“The Feasibility Study on the application of indicator and information disclosure on circularity in the Asian emerging economy”

企業の循環性評価や情報開示の実施可能性の検証をアジア太平洋地域の中でも日本企業の製造拠点多く集まるタイ・ベトナムを中心に実施し、アジア地域の特性を踏まえた循環経済ビジネスを推進。

“Impact of Transition Finance in Japan”

日本の企業約 30 社が導入したトランジション・ファイナンスに関する年次インパクトレポート等を対象に、特に投融資実行後の情報開示のありかたに関する現状と課題を分析し、実情をふまえたステークホルダーとの対話等を通じ同ファイナンス市場の質と量の拡充を推進。

“Localization of Net Zero: Agrivoltaics-based Local Action Model for Climate Resilience, Resource Circularity and Inclusive Growth”

再生可能エネルギー需要の高まりを背景として、アジアの開発途上国を中心に、ネット・ゼロの達成と社会経済の発展を同時に進める営農型太陽光発電^{注1)}モデルを共創し、地域に根差した持続可能な取り組みを推進。

HSBC はネットゼロ移行計画（Net Zero Transition Plan）^{注2)}を策定し、2050 年までにネットゼロバンクとなることを目標としており、自社のサプライチェーンやポートフォリオにおける排出量の削減や、顧客の移行計画の実行を支援する資金提供に積極的に取り組んでいます。また、計画の一環として、慈善活動を通じた気候変動の取り組みへの貢献にも力を入れており、持続可能な未来の実現に向けて大きな影響を与える可能性のある研究プロジェクトやソートリーダーシップの取り組みに寄付を行い支援しています。

注記:

注 1：農地の上部空間にソーラーパネルを設置し営農を継続しながら発電するシステム

注 2：[Our Net Zero Transition Plan | HSBC Holdings plc](#)

HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBC グループは、世界の 57 の国と地域でお客さまにサービスを提供し、3 兆 2,340 億米ドル（2025 年 9 月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

Principal members of HSBC in Japan are:
The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited
HSBC Securities (Japan) Co., Ltd.
HSBC Asset Management (Japan) Limited